

広報 まっだい

MATSUDAI

2002

1

No. 506
平成14年1月10日

A HAPPY NEW YEAR



今回は、Emma DAVISON (エマ デイビソン) さんとEva TOTH (イバ トース) さんを紹介しします。お二人は、英語指導助手 (ALT) として、昨年の夏からそれぞれ、主に松代高校と松代中学校で生徒に英語を教えています。

手にするのは、千年の川端商店が地元の加工用青刈り稲を素材に製作している飾りしめ縄です。イバさんはカナダ、デイビソンさんはイギリス出身。正月は、それぞれの国へ帰って正月を過ごしました。もちろん、このしめ縄は、お二人の家の玄関を飾りました。「今年もよろしくお願いします」

主な内容

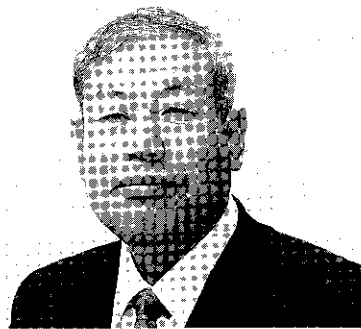
- 町長年頭あいさつ……………②
- 第15回越後まつだい冬の陣……③～⑤
- ごみの話……………⑥～⑨
- 税のこと……………⑩～⑪
- できごと「越後田舎体験」ほか…⑫～⑬
- 東京発／松代の自然／愛のページ……⑭～⑮
- 里創プラン通信／「登場」相澤政喜さん…⑯～⑰
- 文芸・お知らせ・町の行事予定…⑱～⑲

■松代町役場

〒942-1592 新潟県東頸城郡松代町大字松代3252番地1
TEL 02559 7-2220
FAX 02559-7-2526・7-2300
URL <http://www.d4.dion.ne.jp/~matudai/>

魅力あるまちへ

松代町長 関谷 達治



新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、わたしたちの国も停滞し続ける経済、そして、それに伴い雇用環境が厳しさを増した一年でした。アメリカでのテロ事件に象徴されるように、21世紀は、わたしたち一般の住民にも心に閉塞感を感じさせる幕開けとなつてしまいました。しかし、暗い話題ばかりの中にあつて、新潟県ともゆかりの深い皇室の内親王誕生のニュースは、ほほえましい話題を与えてくれました。そうした中、新しい年を迎えることができたことは喜ばしいことです。

さて、わたしたちの町は、過疎、そして高齢化とともに多くの課題を抱えています。しかし、そんな中にあつて当地域のよさ、そして、自然への回帰が重要視されています。

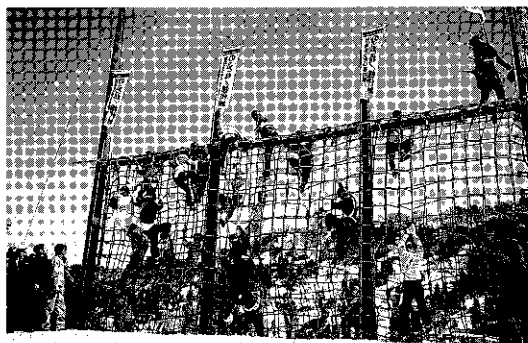
平成十年度から東頸城郡六町村で取り組んできた「越後田舎体験」は、過疎地域自立活性化優良事例表彰で総務大臣賞をいただきました。行政、民間施設、地域住民が一体となつて、ありのままの地域資源を活用した自然田舎体験が評価されました。

また、芸術と自然を調和させた中で地域づくりを進めてきた十日町広域圏六市町村の里創プラン事業「大地の芸術祭」もふるさとイベント大賞（総務大臣表彰）を受賞しました。いずれも、一般住民が積極的に参加し、協働のなかで工夫しながら行わなければ、永く続けることは不可能です。今

後、地域の魅力づくりをすすめながら、世田谷区をはじめ、八王子市、東京松代会、そして早稲田大学との交流が深まることで、一層、お互いが地域の豊かさを実感できるようなことに期待したいと思います。

また、こうした活動をステップにして、ほくほく線の有効利用、さらには上越魚沼振興快速道路の整備がすすみ、都会の皆さんと地域の住民が喜びや感動を共有できるふるさとづくりをすすめていくことが重要です。

内閣は、構造改革を打ち出しています。この議論は、ややもすると中央における「地方切り捨て」の論調になってしまふのはまことに残念です。しかし、こうした状況では、わたしたちの町でも、お金のかからない、効率的な行政の仕組みづくりへの努力が必要です。また、その中で、市町村合併や広域行政を推進していくことで、見えてくるものの利点と問題点を整理していくことが大切です。そして、今後も近隣の市町村と連携を図りながら、魅力ある地域社会を実現していくために、住民の皆さんと一緒になつて取り組んでいきたいと考えます。どうか、今年もより一層のご指導とご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶と致します。



冬の陣の戦士をいよいよ募集します！

——今回からコンビニにあるランナーズ大会
エントリーサービスでも受け付けています——



越後の国は松代に
冬將軍に立ち向かう
熱く激しき冬祭りあり

第15回越後まつだい
冬の陣



よみがえれ！ 雪国の炎

3/9 12:00~21:00

- 開幕大行進
- 閉 幕 式
- 出陣蕎麦相撲
- 越後松代幕府出陣式
- まけよさんよ
- ジョンガイヤ
- ぼんぼさま
- 雪上みこし
- 活き！生き！合戦

3/10 10:00~16:00

- 出陣大舞踏会
- 雪中鉄人レース
正午スタート
(のっつれ！松代城 戦士出陣)
- BSNミュージックポスト公開録音
- 新城主凱旋〜大抽選会
- 閉 幕 式



のっつれ！

15周年記念だ、
ハワイ遠島を
申しつける！



JALで行くハワイ遠島路

「のっつれ！松代城」とは、
城下町から山頂の越後松代城まで
延長約3kmの、雪上に障害物があり、
これ乗り越え越後松代城に一番
乗りを競う雪中鉄人レースの事也。

新城主をめざし、いざ出陣！



うー 旗が鳴る 号砲一発、スタート！ 騎馬止まり お先に失礼！ やっぱ半端は間違ってた？ まだまだ長く長い道のり 山頂の越後松代城までもう少し、ゴールだ！さて順位は？

出場戦士大募集

- 出場資格：出身国を問わず元服年齢（高校生）以上の身体屈強な男女

- 参 加 料：3,000円

- 参加申込：〒942-1592

新潟県東頸城郡松代町大字松代3252 1
松代町役場内 越後松代幕府本陣
TEL02559(7)2220/FAX02559(7)2526

- 申込方法：参加申込書に必要事項をご記入の上、右記へお申し込みいただくか、右ホームページのランネット大会エントリーページからお申し込み下さい。
その他、24時間全国のコンビニエンスストアからランナーズ大会エントリーサービス、C-RUNTESからお申し込みいただけます。

キリトリ

郵便番号	〒 郵便番号は必ずご記入下さい。	性別	男・女
連絡先住所	〒 ()		
フリガナ	年齢		
氏 名	歳		

宛先 〒942-1592 新潟県東頸城郡松代町大字松代3252-1
松代町役場内 越後松代幕府本陣
TEL02559(7)2220/FAX02559(7)2526

HP <http://www.d4.dion.ne.jp/~matudai>

申込書を受付しだい、参加振込用紙をお送り致します。

主催／越後松代幕府（越後まつだい冬の陣実行委員会）

食いだおれ横丁

3/9~3/10



問い合わせは農林課

花 火



かまくら



雪上みこし活き生き合戦

3/9



問い合わせは企画振興課

出陣そば相撲

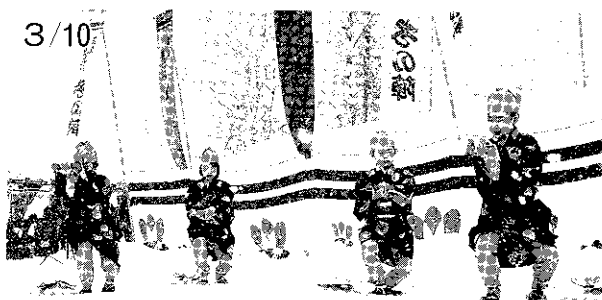
3/9



問い合わせは企画振興課

出陣大舞踊会

3/10



問い合わせは生涯学習課

参加して楽しもてエス

雪の灯りの
コラボレーションを
お楽しみください

品物です

はじまっていますー



松代町も4月から
加わります

ごみには、三種類あります。一つは、焼却するもので、「燃やすごみ」として収集をします。次に、処分場などで処理しなければいけないものとして「埋立てごみ」があります。三つ目は、リサイクルをして再利用や再使用できるものがあります。これが「資源物」として回収されるものです。



ペットボトル日本で作った
作業服

ごみには三種類……



当町は、ごみを十日町地域衛生施設組合で4月から処理をすることを本誌11月号でお知らせしました。では、どのような分類をして収集しているのか、今回から3回シリーズでお伝えします。

ごみ・資源物の収集状況（13年4月～10月までの累計）

品目	量(t)	前年対比(t)	率(%)
燃やすごみ	8,335	△458	△5.2
埋立てごみ	2,178	△657	△23.2

資源物	紙類	1,247	371	42.4
	鉄・アルミ	334	77	30.0
	ペットボトル	59	11	22.9
	トレー・カップ麺	18	7	63.6

4月から始めた資源物の収集状況

品目	量(t)	品目	量(t)
プラスチック類	93	茶色のびん	110
無色のびん	87	その他のびん	44

川西町にあるエコリバーでは、十日町市や川西町などの資源ごみを利用し、製品をつくっています。事業をすすめているのは、井上恒夫さん（十日町市在住）で、収集したプラスチック類を分別する独自のシステムで製品化を行っています。ペットボトルを繊維にして、ワイシャツや安全帽、そして、軍手などを手がけています。「作業着はペットボトル8本でつくることが

ごみを原料にした製品づくりに取り組む……



できる」と井上さんは話していました。当町も、この4月からこの回収の仲間入りをします。

ごみの量は……

十日町地域衛生施設組合のごみの収集状況は、表のようになっています。住民課環境係では「買い物袋のごみを出さないようにエコバッグの配布を3月に行う予定です。ごみの処理にはお金がかかっていることを考えてもらいたい」と話していました。ごみの減量には、ごみを出さない生活スタイルと資源物のリサイクルが大切です。



ごみにも花道があるならば、それは…

ゴミからつくる

ーゴミを原料にした製品づくりが

まずごみは「きちんと」分けて、毎年の収集カレンダーで決められた日の朝8時30分までにしよう！

区 分		収集回数	主 な 種 類	指 定 袋	出 し 方
燃やすごみ		週2回	生ごみ 衣類 紙おむつ ビニール袋 漂白剤容器 ラップ 木の枝 革製品 歯ブラシ 生花 ゴム製品 発泡スチロール製の魚箱など	燃やすごみ用家庭用指定袋	○生ごみは水切りを十分にしてください。 ○剪定木は束ねて、「大」の指定袋で海苔巻き状態にし、必ず指定袋に町内名・氏名を記入して出してください。
埋立てごみ		月1回 (同一収集日)	食器類 板ガラス 傘 スキー タキロン 蛍光灯(1.5m以内) カセット CD おもちゃ類 灯油ポリタンク 炊飯器 掃除機 扇風機 ラジオなど	埋立てごみ用家庭用指定袋	○ガラスや陶器の破片等危険なものは、ビニール袋に入れた上で指定袋に入れてください。 ○スキーやスノーボード等の長いものは、指定袋の口元をよく結んでください。
電 池 類			電池 (ボタン電池を含む) 水銀入り体温計 水銀入り血圧計	指定袋なし (中が見えるビニール袋に入れてください)	○はっきりと中身が電池・水銀入り体温計・水銀入り血圧計とわかるようなビニール袋に入れてください。
資 源 物	紙 類	月1回	①新聞紙 ②段ボール ③牛乳・ジュースパック ⇒A群 ④チラシ ⑤雑誌・その他の紙類 ⑥紙箱 ⇒B群	指定袋なし (種類別に十文字に結んでください)	○種類ごとにたたんで十文字に結んでください。 ○牛乳・ジュースパックは水で中を洗い、切り開いて結んでください。 ○A群、B群に分け雨や雪に濡れないようにしてください。
	ペットボトル 白色トレイ カップ麺容器	月2回	飲料用・酒類用・醤油用ペットボトル (※マーク1のついたペットボトル) 白色の発泡スチロール製食品用トレイ (※納豆トレイは燃えるごみ) 発泡スチロール製カップ麺容器	指定袋なし (収集カゴに入れてください)	○きれいに洗ってください。 ○ペットボトルはキャップ・ラベルをはずしてください。 ○マーク1のペットボトルのみです。 ○カップ麺容器の上フタは、はずしてください。 ○魚箱や家電製品等の梱包材の発泡スチロールは、燃やすごみへ出してください。
	プラスチック類	月2回	色・柄のついた食品用トレイ 納豆トレイ 卵ケース 菓子類の仕切り 果物の透明ケース シャンプーなどの洗剤容器 (漂白剤容器・ポンプは除く) ハンガー ポリバケツ 定規 箸箱など	指定袋なし (収集カゴに入れてください)	○きれいに洗ってください。 ○ふた、ラベル、値段シールは取ってください。糊付けなどで取れないものはそのまま出してください。 ○ペットボトルはマーク1以外のものです。
	ガラスびん	月1回	飲食用びん 調味料用びん ワンカップ くすりびん アルコール飲料用びん	指定袋なし (3色に分けて収集カゴに入れてください)	○きれいに洗ってください。 ○ふた、ラベル、値段シールは取ってください。糊付けなどで取れないものはそのまま出してください。 ○曇りガラスや模様のあるびんは、その他の色のカゴに出してください。
	鉄・アルミ類	月2回	トースター 芯上下式ストーブ ファンヒーター ガスコンロ なべ類 フライパン スチール家具 スノーダンプ スプレー缶 空き缶 自転車 三輪車	指定袋なし (収集カゴに入らないものはそばに置いてください)	○大きい缶はつぶしてください。 ○ストーブ・ヒーター類の乾電池、灯油は必ず取り除いてください。 ○スプレー缶は中身を空にし、釘などで穴を開けてください。

ゴミの出し方(1)



STAGE1

紙類（月1回収集）

合言葉は“種類ごとに分けましょう!!”

〈収集品目〉

- A群 1. 新聞紙 2. 段ボール 3. 牛乳・ジュースパック
B群 1. チラシ 2. 雑誌・その他の用紙類（包装紙・封筒など）
3. 紙箱（菓子箱・ティッシュボックスなど）

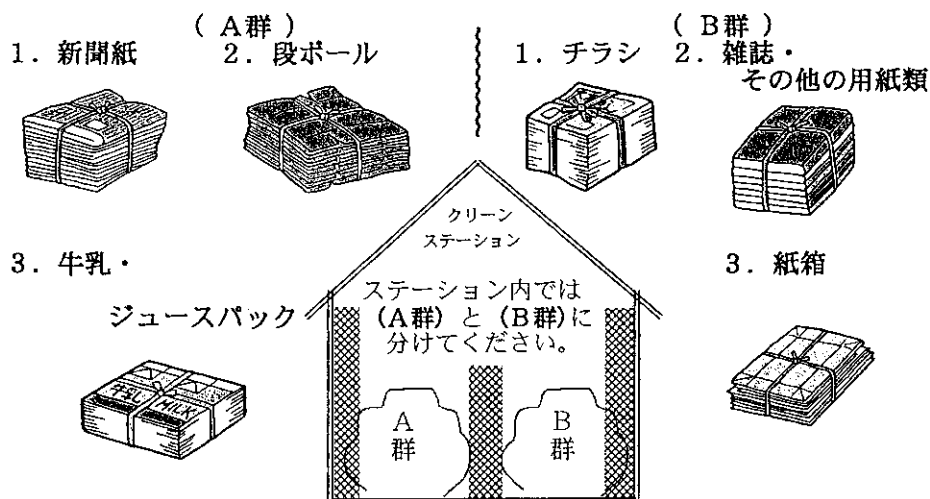
〈出し方〉

- ・各番号ごとにたたんで、ひもで結んでください。
- ・ティッシュボックス、封筒などについているビニール類は、はずしてください。→ビニール類は「燃やすごみ」

※必ずたたんで、ひもで結んで出してください。

お願い

ごみステーションでは下図のようにA群とB群に分けて出してください。（A群とB群を収集する車が違いますのでご協力ください。）



紙類として出してはいけないもの

- ・薬品、食品などが付着したもの（農薬の箱、ケーキの箱、粉末洗剤の箱）や匂いのついているもの（線香の箱や石鹸の箱）→「燃やすごみ」
- ・紙以外の材料（プラスチック、布、金箔、銀箔など）と合わせて作られている箱類や包装紙→「燃やすごみ」
- ・感熱紙（ワープロ用・ファックス用）→「燃やすごみ」
- ・表面にろうが塗られているもの（宅配便の包装紙など）→「燃やすごみ」

一歩すすめて...

製品に向けた 資源

STAGE2

ペットボトル・白色トレイ・カップ麺容器（月2回収集）

合言葉は“きれいに洗ってリサイクル!!”

〈収集品目〉

ペットボトル

- ・飲料、酒、醤油用のみ



左記のマークがついているもの
「1」以外のペットボトルは「プラスチック類」の日に

白色トレイ

- ・発泡スチロール製のみ
- ・白色のもののみ
- ・納豆トレイは除く

色・柄付きのトレイは「プラスチック類」の日に

カップ麺容器

- ・発泡スチロール製のみ

紙製の容器は「燃やすごみ」の日に

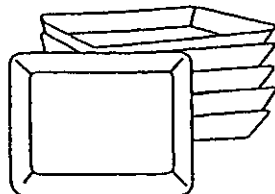
注) 魚・果物などの保冷箱や家電品購入時の発泡スチロールは碎いて、「燃やすごみ」の日に出してください。

〈出し方〉

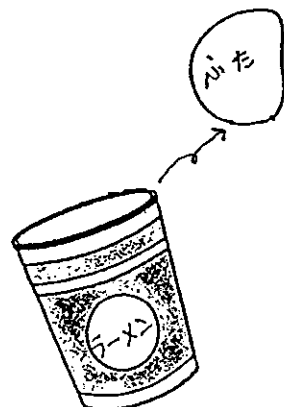
きれいに洗ってください



※キャップは「プラスチック類」の日に
ラベルは「燃やすごみ」の日に



※魚・果物などの保冷箱や家電品購入時の発泡
スチロールは碎いて「燃やすごみ」の日に

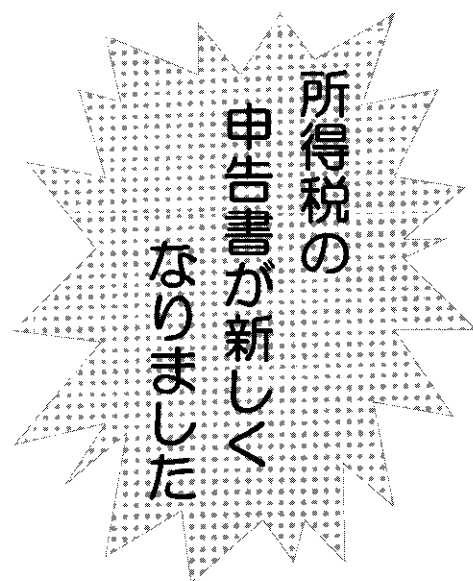


※上ふたは「燃やすごみ」の日に

“税金は未来のための貯金箱”

—東頸城郡租税教育推進協議会最優秀賞—

松代中学1年 鈴木 寛也君の作品



お買物は町内で
しましょう。

みなさん、1%は地方消費税です！

地方消費税と消費税、あわせて5%です。



確定申告の提出書類は、申告納税制度の趣旨から、確定申告をする本人から正しく作成していただくことになっています。申告会場では、確定申告をする本人から確定申告書が作成できるような相談をお受けしていますので、気軽にご利用ください。

自分で正しく作成

平成14年1月から、所得税の確定申告書の用紙が新しくなりました。確定申告書、青色決算書及び収支内訳書が、新しいコンピュータ処理に対応した様式に変わりました。

確定申告書の
提出はお早めに

確定申告書の作成で相談に税務署までおいでになる場合は2月18日(月)～2月28日(木)の申告期間前半においてください。

また、年末調整をした給与所得者等の還付申告は、1月から受け付けています。いずれも自分で正しく作成し、郵送などで、早めに提出してください。

東頸城郡租税教育推進協議会長賞

作文の部

最優秀賞	3年	小野島寛子さん
優秀賞	3年	長谷川真弓さん
奨励賞	3年	田辺 邦幸君
奨励賞	3年	井上 陽香さん
奨励賞	3年	室岡 直子さん

標語の部

最優秀賞	1年	鈴木 寛也君
優秀賞	2年	樋口 慶太君
奨励賞	3年	島田 麻莉さん
奨励賞	1年	柳 夕紀さん
奨励賞	1年	齋藤 裕太君

納税は期限内に、振替が便利です
所得税の納期限は3月15日(金)です。振替納税を利用されると手数料がはぶけて便利です。
また、振替納税を利用している人は指定預貯金口座の残高を確認しておいてください。
以上、不明な点は、高出税務署個人課税部門(TEL 0255-23-4171)まで

税金

知って得するタックスアンサー

電話代が気になる人は、
インターネットで利用できます。

アドレス <http://www.taxanser.nta.go.jp>

税金のことで疑問やわからにくいことで困ったことはありませんか。
タックスアンサーは、税金に関する相談に、コンピュータが自動的にお答えする電話サービスです。
日曜・祝日も含め、24時間ご利用になれます。税の項目ごとに身近なテーマ別に660ほどについてお答えしています。
利用は、簡単です。最寄りのタックスアンサーに電話し、案内に従い、コード

あなたはご存じですか……



電話番号

025-223-2299

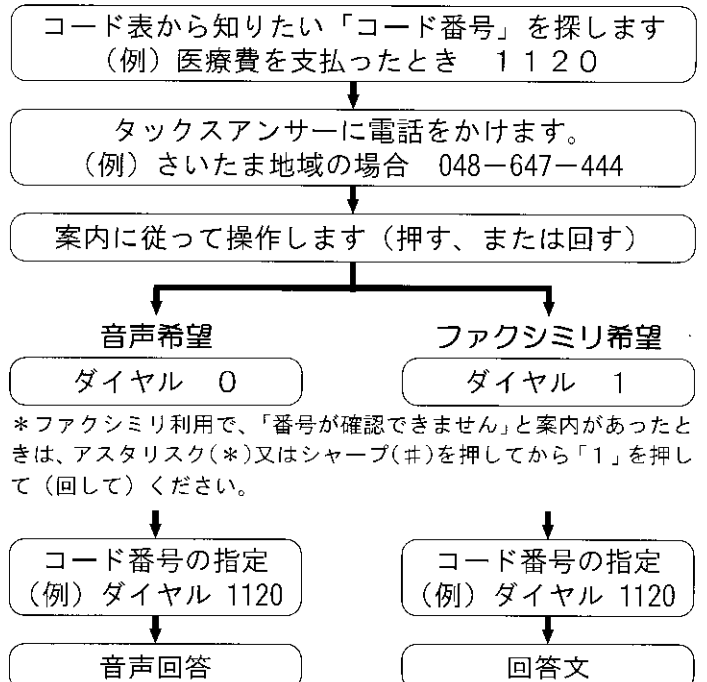


番号を押すと解説が流れます。
なお、利用に必要なコード表は役場2階窓口に用意してありますので、ご利用ください。
問い合わせ 役場出納税務室または、高田税務署まで

利用上の注意

- ご利用は、24時間できます。(日曜、祝日などの休日にもご利用できます。)
- 一回の電話で最高5つまでの「コード番号」の解説を聞くことができます。また、同じ「コード番号」の解説を繰り返しお聞きになりたいときは、もう一度同じ番号を指定してください。
- 「ダイヤル式公衆電話」や「内線電話」からは、ご利用できない場合がありますので、ご了承ください。
- 法令の改正等があったときは、特定の「コード番号」のサービスを中止することがあります。
- 「コード番号」のはじめに「*」があるものは、ファクシミリ専用コードです。それ以外の「コード番号」は、音声・ファクシミリどちらもご利用できます。

利用方法





越後田舎体験事業が

平成13年度過疎地域自立活性化

優良事例として

「総務大臣賞」を受賞しました

東頸城郡の6町村で取り組む越後田舎体験事業が過疎地域自立活性化優良事例として総務大臣賞を受賞しました。

子どもたちに好評だった民泊の中から、生徒や児童を受け入れた体験談とあわせて紹介します

平成11年度から東頸城6町村で行っている「体験教育旅行」の受け入れも今年で3年目になりました。

この体験旅行は、都市部の学校の修学旅行や林間学校で利用されていて、ブナ林の散策などの自然体験、バードウォッチングやホタル観察などの環境学習、田植え、稲刈り、そば打ちなどの農業・味覚体験、川遊びなどのスポーツ・アウトドア、陶芸やわら細工などの伝統工芸といったプログラムを体験しています。

参加者数は、平成11年度から今年度までで約4500名。宿泊、体験による直接的な売上げの他に、飲食、物産などにも大きな経済効果をあげています。

地域の皆さんがインストラクターや民泊交流を通じて活躍で、都市部の子どもたちが疑似体験ではない感動あふれる本物の体験ができました。子どもたちの感動と喜びの気持ちが便りや冊子にまとめられ、学校から各町村へ寄せられています。

東頸城に一度訪れた学校は「また来年も」というところが多く、先生同士の口コミで他の学校への広がりも出てきているようで、営業活動を行った先で



は、「越後田舎体験」の知名度の高まりを肌で感じてきました。

これからは、自らの地域を自慢できる「体験」を通じて、地域が活性化するように、多くの体験旅行の受け入れを行っていきます。

越後田舎体験の平成13年の受け入れ団体数は、23団体。(2519人) 14年は、1月現在で28団体(2800人程)ほどの予約を受け付けています。協議会の事務局を務める安塚町の小林健吉さんは「インストラクターは地域の皆さんです。人の温かさがつたわる指導が、都市部の学校に好評」と話していました。



共同募金はこんなところでも役立っています

12月15日、70歳以上の一人暮らしの方を対象にした一人暮らし高齢者のつどいが、民生児童委員の皆さんほかの協力で行われました。

当日は、松代活性化センターを会場に健康チェックにはじまり、レク・ダンス協会の体操や芝峠温泉の入浴のあと、手作りの弁当と松月会の皆さんの踊りを楽しんでいました。

午後からは郵便局の西條和夫さんと中村清一さんの手品を、そして峠出身で全国消費生活相談協会の鈴木春代さんが、クーリングオフについて講話を行い、参加した人は真剣に話に聞きいっていました。

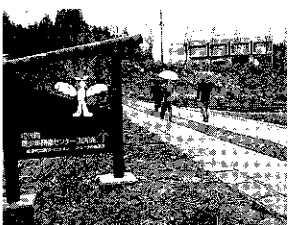
町の一人暮らしの方は100人ほどで、そのうち、この日は41人が参加しました。

社会福祉協議会では、「皆さんから寄せられた募金の一部をこうした活動の資金にしています。大勢の方からの募金に感謝します」と話していました。



簡保資金でリニューアルオープンした松代町青少年研修センターに案内標示板

簡易保険の資金が充てられている松代町青少年研修センター松和荘(旧松代中学校松和寮)の案内標示板が松代中学校敷地内にできました。案内板には、町の木として親しまれているブナをヒントにした「森の妖精」が描かれています。現在は妖精もしばし雪の中。なお、松和荘の利用は随時受け付けています。問い合わせ生涯学習課(TEL7 2301)



松之山町 高沢 寿恵さん

浦田地区で豪雪の時に始まった豪雪塾の頃から、山村留学などの民泊を早い段階から受け入れてきたので、民泊は自分の子どもが帰ってきたように子どもたちを自然に迎えられ、子どもたちからも元気をもらっています。ある学校の子どもは、帰る時に内緒で部屋に手紙を残していき、それを読んだ時は涙がでました。たった1泊の子どもたちでも、会うのは楽しみで別れはつらいものですが、一期一会を大切にしていきたいと思っています。

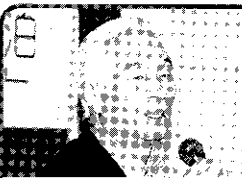


大島村 内山 好子さん



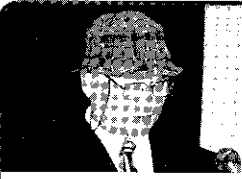
旭地区で都会の子どもたちの民泊を初めて10年目になります。最初は、何をしてあげたら喜ぶのだろう、何を食べたいのだろうと心配でしたが、心配無用。子どもたちには畑の作物や咲いている花、大きな部屋など、田舎の全てが感動でした。どんなことでも楽しいようです。帰る時には「またくるね」と言って帰っていきます。これからも自分が元気なかぎり民泊を受け入れて、たくさんの思い出を作りたいと思います。

牧 村 羽深 常郎さん



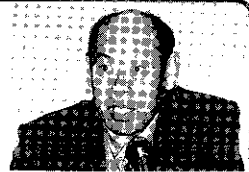
今年から田舎体験の民泊受け入れを始めましたが、その中でとてもうれしいことがありました。6月に泊まった中学生が帰るときに「夏休みに、遊びにきてもいいよ」と言って送り出したら、その中の1人から「おじさん、夏休みに遊びに行ってもいい」と電話がきて、みんながプライベートで遊びにきてくれました。バーベキューをしたり、川遊びを延々4時間も楽しんでいました。これからは子どもたちとの交流を大切にしていきたいと思っています。

松代町 佐藤 貞夫さん



今年初めて自分の家で民泊を受け入れました。私は折り紙を教えているのですが、子どもたちがきた時に珍しい折り方を教えてあげています。すると帰ってから子どもたちから「とてもいい体験ができました。おじさんから教えてもらった折り紙は、学校の友達や家族への自慢です。」と喜びの手紙や民泊をしたときに一緒に撮った写真が送られてきました。お礼の手紙を読むと、涙が出るくらいうれしいです。

安塚町 外立軍一郎さん



田舎体験の民泊受け入れを3年行っています。ひとつ感じていることは中学生たちには少し時間が足りないのではということです。民泊の時間をしっかりと与えていただき、もっと子どもたちとの交流をしたいと感じます。子どもたちとは、暑中見舞いや年賀状を出し合っています。また、家族全員の寄せ書きを送ってくれる子どもたちもいます。安塚の人間は情が薄いといわれないうちに、これからは子どもたちと付き合っていきたいと思っています。

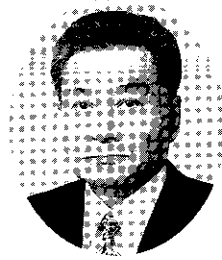


松代ほくほく観音除幕・開眼供養祭

東京松代会幹事長

若井謙一

東京都大田区
(蓬平・干場)



松代町の皆様、会員の皆様、新年明けましておめでと
うございます。

さて、昨年はお蔭様で松代ほくほく観音を古里へ寄贈
することができました。
以下は私のリポートです。



《紅葉の古里へ》

十一月四日、ほくほく線
の車内は東京松代会の諸公
で賑わった。はやる心を押

さえきれず缶ビールで祝杯
し気分は高揚した。古里は
紅葉の真つ盛り、役場のバ
スで「ほくほくの里」へ直

行。

着くなり「ワアーすごい」、
皆が叫んだ観音像は初々し
く白衣に身を包圍し、想像
以上に大きかった。息が止
まり胸が高鳴った。

《除幕》

松代町役場柳総務課長の
開会で始められ、関谷町長、
石野議長、松寿大学の鈴木
前学長、当会関谷最高顧問、
関谷顧問、牧田相談役が厳
かに綱を引くとそこには、
穏和な表情と万人を教え諭
す気品の高い観音像がお姿
を現し、自然と頭が下がり
合掌せざるにはおられませ
んでした。参列者八十名駆
けつけた町民多数「ワアー
素晴らしい！有り難いネ」
歓喜の連発。

《式辞》

東京松代会武田会長は、「創
立十周年に際し、一千名の
会員が古里へ感謝の気持ち
を込めて寄贈します。これ
により会員同志の連帯が強
まり古里との絆が一層深ま
ると思います。この観音様
は松代町民のみならず同血
の私達をも遍く済度してく
ださると信じます」と挨拶。
これに対し関谷町長から
丁寧な答礼、並びにご挨拶
をいただいた。

《名簿奉納》

石野、若井両副会長によ
る寄付者名簿の奉納。石野
氏が一ヶ月余りを費やし、
寄付者全員の名前を捺版に
墨書し、漆塗りにて施し、
手作りの箱に納めて、これ
が永久に胎蔵されるのだ。
石野氏のご苦労にただ感
謝あるのみである。

《開眼供養》

導師長命寺様、少林寺様、
松代、千年の庵主様による
開眼供養に移る。峰々の紅
葉を背景に観音様の白と対
象的に導師の真赤な大傘、

緋の衣、実に極美の光景で
あった。

《祝賀会》

隣の体育館二階にて祝賀
会を催す。天候はすっかり
回復。小春日和に周囲の紅
葉が映える、会場に紅白の
幕が張りめぐらされ、正面
には「松代ほくほく観音」
の看板が掲げられる。役
場の皆さんが準備して下さ
ったのである。

まず、小堺副会長が開会
挨拶、続いて地元の石野議
長、美濃和学長の祝辞をい
ただく。学長いわく「先刻
の豪雨は観音様入魂の証明
で大変有り難い恵みの雨、
あの雨にあたった者は延寿
命必定」と。
祝宴は和気藹々の内に進
み、山岸副会長が祝辞を述
べ、笠原副会長の中締めと
なる。

最後に高橋教育長のご発
声で「東京松代会万歳！」
を三唱して閉会した。
松代町のご厚情に感謝し、
皆様のご多幸とテロのない
平和な社会を祈念しつつ、
私は帰路についた。

● 松代の自然 ●

キレンジャク

初冬の山に晩生のキノコであるユキフリボウズ（クリタケ）でもあれば幸い、無くても元々だ、体慣らしに・・・と登って、ブナの巨木の並ぶ林に入りますと、頭上で口笛のような優しい声で鳴き交わす小鳥の一群があるのに気づき、見上げて観察しますと、それはキレンジャクの群れでヤドリギの実をついばんでいるのでした。

ヤドリギはこちらではホヤと呼んで親しんでいますが、高い木の梢に寄生するので、なかなか手に取って見る機会は少ないのですが、プロペラのような形をした常緑をしたもので、淡黄色のヤドリギと紅色のアカミヤドリギが混じり合って生えている所もありますし、ホザキヤドリギといった落葉するものもあります。

この実に粘質を含んだ糊のような液に包まれた種子が入っていて、これを小鳥が食べ、その糞が木の枝や幹に付着して発芽するという仕掛けで繁殖します。

キレンジャクたちは冬鳥として北の国からやってきては、この実を盛んに食べて移動するので高い嶺の樹木にヤドリギが多く見られるのです。ですから、民家のある低い所にはめったに姿を現さないのです。しかし、松代の関谷八郎さんは自宅の庭に餌場をしつらえて小鳥を誘っ



ては観察と撮影をしています。たまたま、昭和60年の3月に、北へ帰る途中に一服するために寄ったのか、撮影に成功したようです。

キレンジャクは尾の先端が黄色いので、黄連雀、尾の先端が紅色のものはヒレンジャクで緋連雀といいますが、どちらも混じって群れていることがあるようです。この日はとうとうキノコの収穫は皆無でした。しかし、キレンジャクを目撃することができたのはせめてもの儲けものでした。雪が近いある日のことです。

（文 高橋八十八）

東京だより

《十周年記念祝賀会》

1月20日、浅草ビューホテルで開催します。松代の舞踊団体・松月会の次の出し物にご期待ください。

- 一、松代ごころ
- 二、ぬくもり
- 三、佐渡おけさ
- 四、十日町小唄

《越後まつだい冬の陣》

3月9日～10日、古里の雪の祭典に参加し、観音様にお会いしましょう。

詳しくは、本誌に同封した案内状をご覧ください。1月末日までにお申し込みください。

宮沢静峰（益男）氏（松代地区下山）が

紺綬褒章の栄に輝く

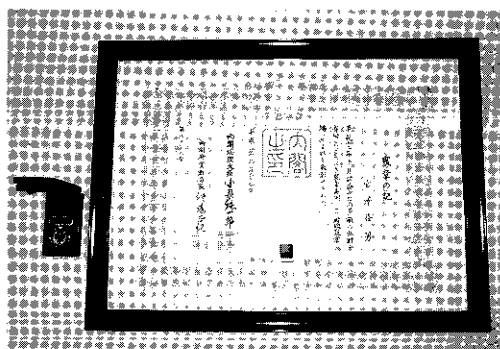


心からお祝い申し上げます。なお、この作品は埼玉高速（地下鉄南北線）鳩ヶ谷駅の多目的ホールに飾られます。

「東京松代会会報」の題字

でおなじみの書家、宮沢静峰氏は鳩ヶ谷市にその作品を寄贈するなど社会に大きな貢献をなしたとして、平成13年12月28日、小泉内閣総理大臣より紺綬褒章を授与されました。

おめでとうございます。



地球環境米米フォーラムでの

ホストファミリーを募集

今年、十日町地域広域6市町村を会場に「地球環境米米フォーラムin越後妻有」という、大きなイベントが開催されます。このフォーラムは、稲作文化の根底にある「ともに生きる」という精神性を世界に発信することを目的に、地球環境平和財団と地元実行委員会が主催して行うもので、各国の大使館関係の人を招いて実施されます。

実行委員会では、このイベントで必要となる外国の大使館関係者の宿泊(ホームステイ)を受け入れていただくホストファミリーと、あわせて通訳ボランティアの方を募集します。

このフォーラムは、高円宮憲仁殿下の提唱によってはじめられました。

稲作農業の根底となる「ともに生きる」を体験してもらうため、日本に在住する世界約70カ国の大使館関係者からこの圏域に来ていただき、地元の方々と一緒に田植え、稲刈りの体験をしながら国際交流を深めるとともに、自然環境に恵まれたこの土地で生まれた、日本一美味しいコシヒカリを世界に発信していこうとい

うものです。

地球環境米米フォーラムは、第1回目が1999年に石川県輪島市の千枚田を会場に開催され、2000年には北海道深川市の大ほ場第2回目が、昨年は滋賀県の北びわこ地域で第3回目が開催されました。

第4回目となる今年は、越後妻有地域を舞台に「豪雪の中で生まれた日本一おいしいコシヒカリ」をテーマとして開催されます。

夏 とんぼ・田んぼシンポジウム
8月(会場:東京)

秋 稲刈りフェスティバル
9月21日(土)~22日(日)
春と同じ人々が稲刈りを体験し、収穫を喜びます。



春 田植えフェスティバル
5月11日(土)~12日(日)
ミオンなかさと付近の圃場で約1,000人が田植えをします。

冬 稲もみ引渡し式
12月(会場:東京)

地球環境米米フォーラムは70カ国の在日大使館関係者が越後妻有に訪問し、各家庭にホームステイをしながら、春の田植えと秋の稲刈りを地元の皆さんと協働で行い、越後妻有の生活文化や稲づくりを体験していただくものです。このイベントを成功させるために事務局では、大使館関係者を受け入れていただけるホストファミリーと交流をサポートしていただく通訳ボランティアを募集しています。

ホストファミリーと通訳ボランティアを募集

- の方々と共に行動していただきます。
- 要件 十日町地域6市町村にお住まいの方。
 - 申込み先 役場企画振興課窓口
 - 締切り 2月20日(水)
(予定国数は十日町20カ国、町村10ヶ国程度を予定しています。)
- 〈通訳ボランティア〉
- ・交通実費等を支給します。
 - 要件 日常英会話のできる方
 - 申込み先 十日町地域広域事務組合企画振興課
(電話0257-5712637)
 - 締切り 2月20日(水)
- 詳細については十日町地域広域事務組合または各市町村企画担当窓口にお問合せください。せっかくの生きた国際交流の機会です。国際交流に関心のある方や中高生のお子さんのいるご家庭など皆様からの積極的なご応募をお待ちしています。

相澤政喜さん(太平)が

農事功績表彰を受けました

緑白綬有功章を授章



相澤政喜さん(太平靴や・65歳)が平成13年度農事功績表彰を受けました。

表彰は、農業改良の実行に功績顕著で、地域農業の発展に貢献されている人に贈られるもので、相澤政喜さんは新潟県の推薦により全国表彰を受けたものです。

授章式は、11月22日、東京都内で、社団法人大日本農会総裁の桂宮宣仁親王殿下がご臨席し、行われました。

経営理念を相澤さんに尋ねると「無理なく、無駄なく、楽しみながらをモットーに取り組んでほしい」と話していました。

現在、相澤さんは平成7年から加工施設を作り、味噌の受託製造をはじめました。屋号の「靴屋」が示すように、古くから自家製靴を手がけていたこともあり、現在、漬け物も好評です。

また、平成8年には青空市としての直売所を設けてきました。集落の誰でも参加できる野菜の直売所の企画や出荷する野菜の中心的な役割を担ってきました。

農家の高齢化や兼業がすすむ中で集落の活性化にも一役買っているほか、顔の見える農産物は年々口コミで求める人が増えているとのこと。

相澤政喜さんは、今回、平成13年度農事功績表彰で、緑白綬有功章を授章したものです。

相澤さんは、野菜と稲作を組み合わせた経営に取り組んできました。昭和39年から葉タバコをはじめ、多いときは70坪ほどの面積になりました。また、葉タバコの共同育苗をはじめたときに、9畝ほどの育苗を手がけ、改良マルチ栽培をいち早く取り入れました。

また、肥育牛を多いときに12頭を育てていました。その後、昭和56年から夏秋ナスが当地域に適するのではないかと試作をはじめました。その中で、連作から生じる土壌病の対策として抵抗性台木を導入し、産地化をすすめました。また、自ら、平成4年には1ヶ月ほど高知県で研修を受け、先進技術の習得に励み、産地として技術のレベルアップに貢献しました。

昭和60年に長男の相澤栄一さんが農業大学校、そして、種苗のタキイを経て就農しました。それを機会に2階建て育苗ハウスを導入し、二人で本格的に野菜の苗づくりをはじめました。そして、当地域のナス接木苗やししとう苗の生産を引き受けてきました。平成6年には、栄一さんに経営を譲り、夫人のキミコさんとサポート役に徹しています。

【相澤政喜氏の主な職歴と褒賞】昭和41年～44年・平成2年～5年松代町農業委員／昭和59年松代町農業賞受賞／平成元年11月新潟県優良園芸経営の部受賞／平成4年日本農業賞新潟県代表(個人の部)受賞／平成7年～12年普及協力委員／平成9年～12年新潟県地域興しマイスター／平成10年JA十日町農協賞／昭和63年から現在新潟県指導農業士として活躍中

写真は、相澤政喜さんと孫の相澤一樹君(松代小5年)一樹君が手にするのが勲章です。



文芸

しづみ俳句会

秋深し杖を頼りの散歩かな
八千代
頭にも藪を乗せて露天湯に
紅茶
眠りたる山の一つに出城跡
六花
来年は休むと決めし冬田か
淡水
子等配る学校田の元氣餅
とし子
貯め置きし豆幹もくべ落葉
枯水
焚き
肩蒲団はなせぬ年にいつの
ひろし
まに
敗荷の夢くだけたる如く立
公鳴

短歌

チャンネルはいづこも新宮
誕生の慶びに湧く師走一日
柳 こめ
またしても村を離るる家に
来て仏壇閉扉の経を誦すな
り 本山 祖道
夜明け前音なく降り出す初
雪の家並み照らす赤き街灯
笠原 トミ
山もみじ真紅の暗さ帯びた
れば西陽に透きて今し華や
ぐ
雪降りて明るくなりし庭の
木々一変したる静けさに立
つ 野石 念
加賀の鳶のいなせな動きに
観衆は雪空の中拍手は止ま
ず 金沢市 小林 淡水

蒲生句会

呼び合える位置に二本の冬
桜 耕山
雪国の定め囲いの縄を縛う
朴 雪
雷一喝阿鼻叫喚の夜の藪
短日の立て付け重き板戸か
月 日
な 鐵 堂
屋根に雪のせて客なきバス
来たる 耕 人
蓮根掘り農のすべてを仕舞
いけり 折 人
軒下に縄簾編み芋茎干す
短日や灯をともし待つ下校
バス 山 路
鳩振舞の辛子和こそ恋しけ
龍 峰

人口の動き

男	2,113人	(-3人)
女	2,206人	(-8人)
計	4,319人	(-11人)
世帯数	1,477世帯	(-1世帯)
出生	1人	死亡 7人
転入	1人	転出 6人
(13年12月末日現在)		

編集室

雪の中、生徒がスキーの練習をしている姿には、心打たれるものがあります。自分にもああいう一生懸命なときがあったなア(?)。40歳を超えると、お腹の出た身体でスキーはちょっと?.....やはり、冬、気になるものは天気です。たまに、青空が灰色の雲の中からのぞくと、本当にホッとします。ましてや、朝から陽がさすと、それだけで1日がツイテイルような気分です。
近所の人との挨拶も「おはよう」の前に、「今日はイイ天気ですネ」と先に天気が話題になります。
そう、話題。今年もたくさんの住民の皆さんから広報に登場していただきたいと思ひます。お世話になります。

元気な良い子に(出生)

柳 光^{ひかり}・正之・綾乃^{あやの}さん
(千年・女の子・にしち)

ご冥福を祈ります(死亡)

若井 嘉厚^{かこう}さん
(池尻・まさえん)

山本 昇治^{しやうじ}さん
(犬伏・いりおき)

若井 アツ^{あつ}さん
(蓬平・きへい)

柳 子^こんさん
(千年・かへい)

横尾 サヨ^{さよ}さん
(峠・まつもと)

山賀 シヅイ^{しづい}さん
(松代・ますだや)

高橋 卯吉^{うきち}さん
(田澤・まんぞう)

佐藤 盛義^{もりぎ}さん
(室野・いちろうえん)

91歳

介護の相談を お受けしています

あなたの介護の悩みに、同様の経験と専門知識をもった相談員が親身になってお応えします。

日々の介護で疲れたり、困ったことがあったらどうぞご相談ください。

電話はフリーダイヤル

0120-070-608

FAX 0120-502 588 いずれも無料
受付期間 月曜～金曜の10時～15時
(FAXは24時間受け付けています)

問い合わせ 介護支え合いネットワーク
〒103-0023中央区日本橋本町12-1-7

あなたの善意を ありがとう

松代町社会福祉協議会 受付分

(敬称略・受付順)

西條和夫・中村清一	5,000円
若山福寿	10,000円
奴奈用小学校	2,968円
松代中学校生徒会	8,517円
孟地小学校	2,615円
松代小学校	14,817円
松代高校生徒会	5,700円
社団法人新潟県友会	100,000円

戸籍窓

(12月1日～12月31日)

幸せ多い人生を(婚姻)

関谷 浩行・高橋真由美^{まゆみ}さん
(菅刈・どうのわき)

町の行事予定 (12・1月)

1/21 (月)	大寒
22 (火)	
23 (水)	
24 (木)	
25 (金)	心配ごと相談(デイサービスC)9:00～(担当:宮澤)
26 (土)	
27 (日)	第16回上石蔵杯争奪クロスカントリースキー大会 (松代グランド)
28 (月)	
29 (火)	
30 (水)	
31 (木)	
2/1 (金)	心配ごと相談(デイサービスC)9:00～(担当:柳)
2 (土)	世田谷いずみ学級雪遊びツアー (世田谷区教育委員会主催事業 2月2日～4日)
3 (日)	こども将棋教室(総合センター)9:30～10:30
4 (月)	立春
5 (火)	
6 (水)	
7 (木)	風しん予防接種(総合センター)13:30～14:00
8 (金)	心配ごと相談(デイサービスC)9:00～(担当:村山)
9 (土)	第3回早稲田大学雪掘りボランティア (学生ボランティアセンター主催 2月9日～14日)
10 (日)	
11 (月)	建国記念日
12 (火)	
13 (水)	
14 (木)	信越学童スキー大会
15 (金)	心配ごと相談(デイサービスC)9:00～(担当:齋藤)
16 (土)	
17 (日)	町将棋大会(総合センター)9:00～15:00
18 (月)	
19 (火)	
20 (水)	

お知らせ

早稲田大学

学生の民泊、受け入れる家庭を大募集

町では、雪掘りボランティアに訪れる学生を受け入れる民泊(ホームステイ)に協力していただける家庭を募集しています。

日時 2月9日(土)16時～2月10日(日)9時の1泊
申し込み・問い合わせは企画振興課まで

妻有福祉会の施設長を募集しています

職 種 精神保健福祉施設 エンゼル妻有の福祉施設長
定 員 1人
受験資格 ①平成14年4月1日現在において満57歳から62歳の人②精神保健福祉に5年以上従事した経験を有するかまたは同等以上の能力を有し、施設を適切に管理運営する能力がある人。③自動車運転普通免許を持ち、広域6市町村在住で通勤可能な人。
給与・勤務条件 年収約300万円
満64歳の年度末まで採用。
勤務場所 精神保健福祉施設 エンゼル妻有
採用試験日 平成14年2月17日(日)、合格発表は2月中旬
試験内容 面接試験
申し込み 2月13日(水)までに所定の申込書類にて申し込む。
なお、12日の消印有効

書類の請求と問い合わせ

社会福祉法人妻有福祉会 養護老人ホーム妻有荘
(TEL0258-58-2050・FAX0257-58-2861)
〒949-8525十日町市幸町

北越急行鉄道の社員を募集します

職 種 運転士・施設技師
人 員 若干名
職務内容 ①運転士 駅営業係として出改札等の業務従事後運転免許を取得し、運転士として普通電車に乗務。
②施設技師 工務区において軌道・施設の保守業務等に従事。

募集受付期間 2月4日(月)～2月27日(水)

採用日 運転士 7月1日
施設技師 9月1日

その他 応募方法等詳細については、北越急行総務課にお問い合わせください。

問い合わせ 北越急行総務課
(TEL0257-70-2820・FAX0257-70-2825)

なお、要項は役場企画振興課窓口でもご覧になれます。

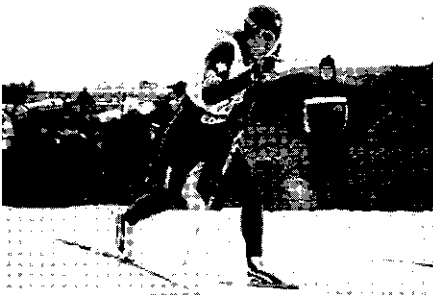
空手 — 今年もガンバルぞ! —



昨年の三条市で行われた県大会で3位になった皆さん。左から柳鮎美さん、富澤えみさん、市川美樹さんです。大会は全国中学生空手道選手権大会を兼ねたもので、同点決勝で惜しくも3位でした。指導にあたる相沢勇さんは、「全中はすぐそこです。今後がんばってほしい」と話していました。

おじゃまします

後藤鹿子さん、がんばってね ソルトレイク5輪



ソルトレイクシティー五輪まで28日となります。今回は、松代高校卒業生でオリンピック出場を決めた後藤鹿子さんをおとずれました。

後藤さんは、12月29日、1月10日まで、ワールドカップの大会に出場のためイタリアへ。夏はローラースキーやランニング、そして筋力トレーニングを主に積んできました。また、走りこみには、多いときに2時間半ほど時間をさいてきました。

調子の方は、12月19日のワールドカップでは自己ベストの18位。決勝進出こそ逃したものの、「体調は、昨年のときよりもいい」と話していました。現在、オリンピックに標準をあわせて調整中です。

後藤さんから若い人たちへのメッセージは、「競技には、努力や素質、そして忍耐力などさまざまな要素があると思います。でも、出来、不出来よりも大切なのは、人が見ているところでの練習はもちろんのこと、普段の人が見えていないところでの練習ではないかなと思います」と話してくれました。



後藤さん
がんばってください。
応援しています。

※写真は欧州遠征の際に写したものです。中央の写真、前列右が後藤さんです。